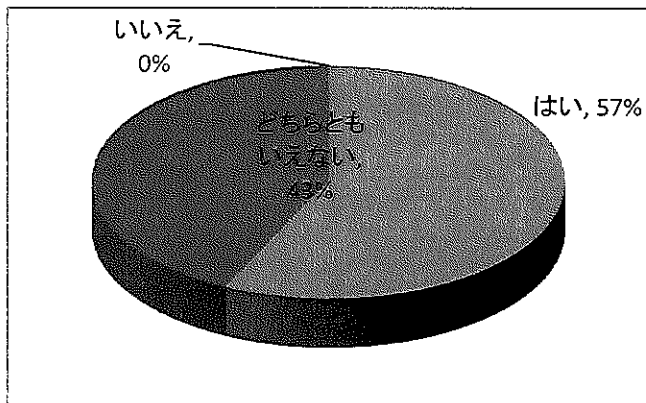


H30年 ファミリーキッズ座間 自己評価結果

回収率 7/8 2月実施

日頃よりファミリーキッズ座間では、職員ハンドブックを基本にしながら、障がい特性に配慮した支援が行えるように学習対応しています。今まで120項目の自作の自己評価を用いてきましたが、今回県の障害福祉課で示された自己評価を活用しました。内容的にやや管理的な性格が強く、ご利用者への接遇、サービスの観点が若干弱い
ため次回より県の評価書をベースに当方の評価内容を数項目足した内容で行いたいと思います

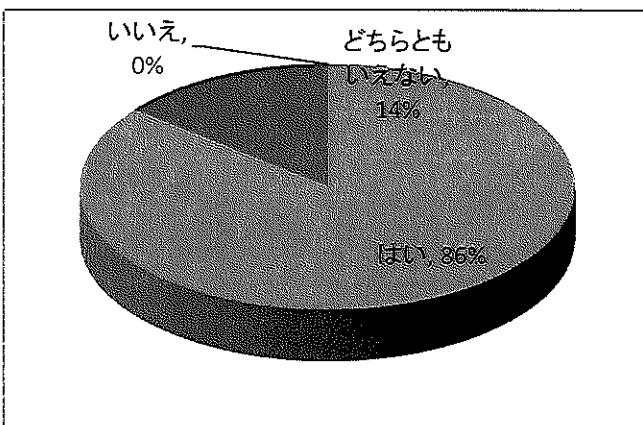
1. 環境・体制整備



コメント:

事業所内のスペースは法定基準より広めに確保されており、圧迫感があまりない。
職員数は法令を遵守し、必要に応じ法令よりも多く職員を配置することがある。
ハード面でのバリアフリー化は少し弱く、玄関付近の段差・トイレ入り口の段差がある。

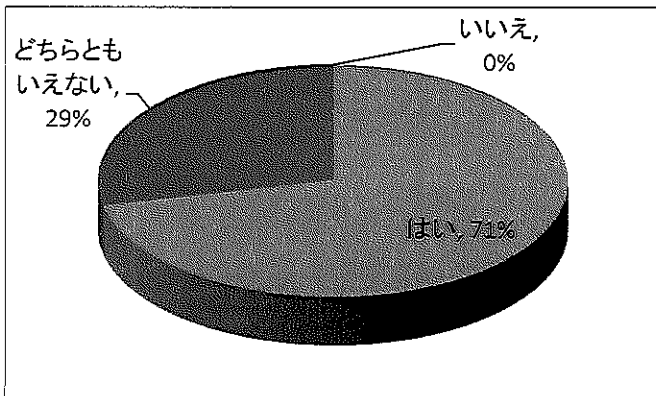
2. 業務改善



コメント:

職員の資質の向上のため、内部研修を必要に応じ開催している。また、学校や福祉事業所などで行なっている研修にも選りながらではあるが参加している。
保護者様の意向や意見収集は、半年に一度ある面談時や自宅送り時に行なっています。
現在、第三者による外部評価は行なっておりません。

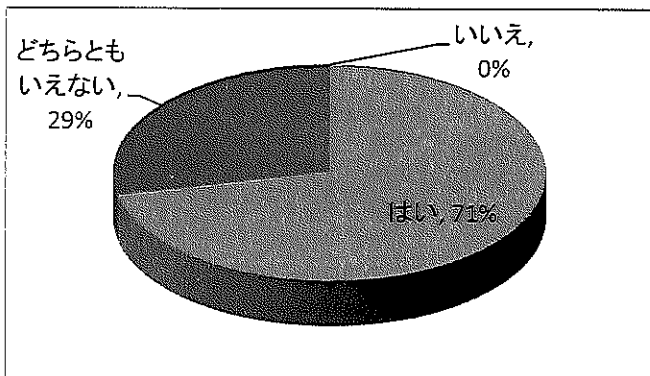
3. 適切な支援の提供



コメント:

半年ごとに面談があり、その際に保護者様と直接お話をしながら課題やニーズの確認を行ない、個別支援計画の変更や修正を行なっております。また、ご自宅送迎時にご利用者様のご自宅での様子などを必要に応じお伺いしています。
学校がお休みの日や長期休暇の際は、外出や社会体験に力を入れています。

4. 関係機関や保護者との連携

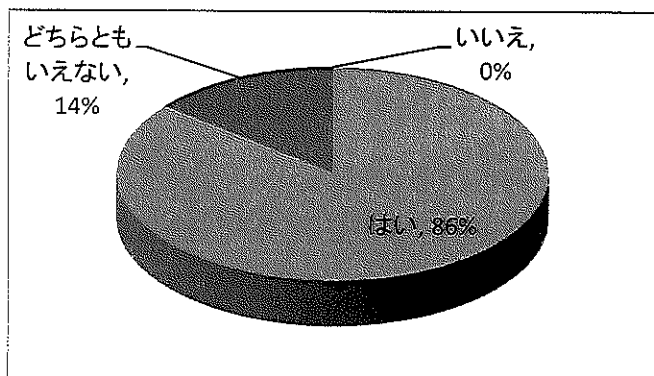


コメント:

サービス担当者会議などの会議には、管理者と自発管で参加し、2名以上で事業所内での様子をお話させて頂いています。

保護者様には必ずご自宅送迎時に、利用時の様子や学校お迎え時、車中の様子などをお伝えし、日頃からお子様の状況や課題についてのお話をさせて頂いております。

5. 保護者への説明責任

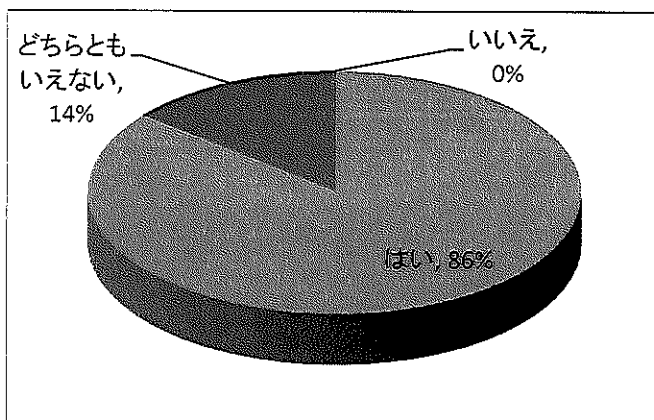


コメント:

保護者様との交流として、年に二回ご家族様参加型の行事企画を行ない、ご家族様同士の交流やお子様の様子を見ていただく機会を設けております。

イベント企画に参加されたご利用者様へ、参加時の様子が分かるお便りを配布しております。

6. 非常時等への対応



コメント:

身体拘束については該当する事例がありません。

食物アレルギーについては、保護者様のお話や、受診結果を基に対応し、必要に応じ個別支援計画の備考欄に記載をしております。